

若井たつこのネットワーク通信

# ハート&フットワーク

発行：若井たつこ後援会 (086) 274-5819

印刷所：白井印刷株式会社 2002年11月10日発行 第13号



## 市民政治の原点を胸に

### 新たな挑戦をはじめます。

2003年4月の統一地方選が近づいてきました。市民政治という原点にたち帰り、無所属での再出発を期す私にとって、これまで以上に真価が問われる厳しい選挙となります。

正直、これまでの選挙スタイルを継続するか否か、ずいぶん悩みました。しかし、今回敢えて新しい選挙スタイルに挑戦してみようと思えます。今予定していることは以下のとおりです。

#### ①お金のかかる選挙からの脱皮を目指します。

お金のかかる選挙からの脱皮は、私の重要なテーマの一つです。今回思い切つて選挙用の特別な事務所は設けず、既存の連絡事務所を有効利用します。選挙とは、あくまでも日頃の政治活動の延長線にあるものと位置付け、ややもすれば選挙の時だけ大騒ぎして資金集めに奔走

する政治スタイルとは一線を画したいと思えます。

#### ②今まで以上にフットワークを使います。

私がこれまで一番大切にしてきたのは、市民の皆様との直接のふれあいです。お金は出来るだけ使いませんが、フットワークはこれまで以上に使っていきます。

#### ③ITも積極的に活用していきます。

世はまさにIT革命の真只中。まだまだ敷居が高いという人もいらっしゃいますが、私たち市民や障害のある人、お年寄りのライフスタイルに新たな可能性を示しているのも事実です。遅まきながら、私も市民の皆様とのコミュニケーションの一手段としてITを積極的に活用していきます。11月1日にホームページをアップしました。ぜひアクセスしてみてください。

以上、これまでの選挙とはずいぶん違ったものになると思いますが、市民政治を形あるものにしていく取り組みの一環であることをぜひご理解くださいますようお願い申し上げます。

## □□議会報告□□

9月議会で「学校飼育動物」について質問しました。皆さんよくご存知の小学校に居る鶏やウサギについてです。現状として、飼育方法がわからなかったり、病気になれば家庭菜で済ますなど、現場ではほとんどお手上げ状態が続いているのです。せつかくの小動物との触れ合いが、正しく飼育出来ないことによつて、不幸な結果をもたらしかねないという関係者の危機感を受けての質問でした。

私の「飼育動物に関する独自予算をつけて欲しい」という主張に対して、教育長からは、「必要だと思う」という答弁をもらいました。その結果、来年度からの予算化が決まり、獣医師会による相談・治療業務がスタートすることになりそうです。

DVや幼児虐待が大きな社会問題になりつつある今日、学校現場で小さな命を大切にすることをどう教えて行くのか。その大前提になる一歩だと思えます。